

6月11日(水) 本年度第47回(通算2733回)

## 一年間を振り返って

担当/理事会・広報委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

### ■出席報告【会員総数68名 免除7名 出席計算に用いた会員数68名】

出席者 37名 本日の出席率 54.4%

### ■ニコニコ献金

- ・先週の野遊会、申し訳ありませんでした。～小野寺 英夫君
- ・本年度残り3回です。何卒よろしくお願い致します。～佐渡 正幸君
- ・母の葬儀に際し、皆様御足労いただきましてありがとうございます。～徳山淳一君
- ・4つのテストよろしくお願い致します。～菊池美恵子君
- ・結婚記念日で綺麗なお花をいただきました。記念日を思い出させてくれて有り難うございました。～多田洋平君
- ・結婚記念日お花有り難うございました。～村井順一君
- ・入会記念日です。8年もたってしまいました～小林裕幸君
- ・入会記念日です。14年もたってしまいました～高橋貢君
- ・入会記念日です。32年もたってしまいました～能登信孝君
- ・バースデーケーキが届きました～小山義雄君
- ・カメラが見つかりました。本日の例会よろしくお願い致します。～泰地浩幸君

### ■会長挨拶

《小野寺会長》



みなさんこんにちは。

本日も例会にご出席ありがとうございます。

先日の野遊会ではリフレまでも行けず途中でリタイアしてしまい申し訳ありませんでした。こここのところ天気が悪く蝦夷梅雨のようなので、皆さん体調を崩されないよう気を付けていただきたいと思います。では会長あいさつをさせていただきます。

先ほど皆さんと一緒に唱和しました四つのテストの三番目に「好意と友情を深めるか」とあります。この「好意と友情を深める」にはどうしたらよいか、と言う事ですが一つの方法に「人の話をよく聞くこと」という事があります。

心理カウンセラーの先生が言うには、「人は話すことにより、心が癒される」「だれかに自分の話を一心に聴いてもらいたい」として「人は、正されたいのではなく、ただ認められたい生き物です」とも言っております。そうしますと大事なことは「相手の話を否定せずに聴くこと」になるかと思えます。末広のスナックの聞き上手な女性がそうで、末広町ではないですがアメリカ人の大学教授を日本のスナックに連れて行ったところ「ここはカウンセリングルームなのか？」と聞き、「日本にカウンセリングルームが少ない理由がわかった」とうなずいたそうです。只、「聴く」という行為には「忍耐」が必要で、自分に「余裕」がないと中々できないそうです。会社においても家庭においてもいつもとは申しませんが「相手の話をただ聴いてくれる人」になってみるのもよいかもかもしれません。

### ■幹事報告

《佐渡幹事》



- ・5月の活動報告が弟子屈、厚岸、根室ロータリークラブより届いておりますので回覧致します。
- ・6月の例会プログラムが、浜中、弟子屈、根室、釧路東、釧路西、釧路南、釧路ベイロータリークラブより届いておりますので、回覧致します。
- ・釧路交響楽団のサマーコンサートの案内が届いておりますので、回覧致します。

## 一年間を振り返って



広報・雑誌・IT 委員会  
泰地浩幸委員長

委員長にも関わらず上期の欠席が多く本間副委員長はじめ委員の皆様、メンバーの皆様にご迷惑をお掛け致しましたし、誠に申し訳ございませんでした。

広報委員会は、活動計画の通り R I、地区、各クラブ等の情報提供を行い、会員間のコミュニケーションとロータリー活動に対するより一層の理解と親睦を促し、例会記録はホームページに地域社会への奉仕活動等はマスコミ等に積極的提供し、ロータリー活動や目的等を地域の人に理解して頂くよう努めてきました。

7月3日第1回例会のハンマー伝達式から始まり、7月24日の出発式8月18日クラブ55周年記念例会と本日の第47回目までできました。

本日は第44回NTTでの職場訪問例会までの記録写真をDVDにまとめましたので、皆様のご活躍をご覧頂きたいと思えます。

本例会を含めて残り3回の例会記録を確実に記録し、全49回の例会記録をDVDにまとめて、後日皆様にお渡しさせていただきます。

映像終了後は石井副会長よりまとめのお話をさせていただきます。ひよっとしたら、ぶっちゃけトークなど出るかも知れません。

それでは、映像より始めさせていただきます。よろしくお願い致します。



石井東洋彦副会長

わざわざ私に本日の機会を与えて下さいました佐渡幹事と泰地委員長へ感謝いたします。

それでは、小野寺年度の特徴的な点を4点挙げてみたいと思えます。

- ・国際交流から国際奉仕へ…①台湾、宜蘭RCと友好関係を結んで交流している  
②今年度は山形の米山奨学生からモンゴル教育に取り組んでいるジャンチブさんが創設した新モンゴル高校を訪問しフレRCと交流、坂入会員が世話役となってくれた米山奨学生のアマルさん親子とも再会し激励することが出来た。この交流から一歩進めたモンゴルへ医師を研修講師として派遣するという国際奉仕に関わることができたことは、クラブにとって大きな成果であった。
- ・行動する社会奉仕……………8月千代の浦海岸を中心とした清掃活動  
12月歳末助け合い運動に協賛しての街頭募金（毎年、家族クリスマス忘年会で募金を行い、歳末助け合いに協力しているが今年度は加えて実際に街頭に立って道行く人に募金を呼びかけた。赤い羽根の最終日であったが金額の多少は、ともかく行動する社会奉仕の実践であった。  
5月パラリンピック代表の中西麻耶さんの講演会を開催。準備期間の短い中であれだけのお客さんを迎えることが出来たことは大成功と言って良いではないか。何人かの方から「良い講演会だった」と言葉を直接いただき感激を覚えた
- ・若い会員の入会への積極的な取り組み…ここ数年会員増強がクラブにとっての大きな課題となっていて、家庭集会では外されないテーマとなっていたが、この会員増強をテーマにしたフォーラムをPart1.2.3.と形を変えながら例会のテーブルに乗せ、みんなで、その方策を探ってきた。  
もちろん、簡単に入会可能な人の名前が挙がってくる訳にはいかなかったが、佐渡幹事や中島谷副幹事を中心にJCでの人脈を積極的に活用して新会員発掘に努力されたお陰で、新入会員歓迎会が2回、充実した内容で開催されたことはもちろん嬉しいことでありましたが、何と言っても新入会員卓話が数多く聞けたことはクラブの活性化にとって大きな光となった。先日北川ガバナー補佐が野遊会で小さな子どもの姿が多くなったことで、クラブが若返ったことが実感出来る事であると話していた。
- ・親睦家族委員会のがんばりに感謝…平澤委員長を中心に、出発式に始まり、新入会員歓迎会、家族クリスマス忘年会、新年交礼会、ひな祭り、野遊会等々、働きづめの1年間であったと思う。見事、委員会メンバー一丸となって、クラブにとって一番大事な親睦に取り組んで頂いたことに感謝と拍手を送りたい。加えて、親睦委員会ではないが吉田会員には、先日の山花での野遊会では自分の関係職場とはいえ、その気配りと動き詰めの姿にはお礼をもう上げたい。